

市民活動サポートセンター運営協議会 第8回団体支援部会報告書

〈開催日時〉 2023年2月9日 午後1時30分～午後3時30分

〈開催場所〉 市民活動サポートセンター

〈出席者〉

団体支援部会： 廣田委員、柿崎委員、斉藤委員、森委員、田久保

市民協働課： 矢田係長、菊池主任主事

ふなばし市民大： 大橋主査

[配布資料]

1. 第7回団体支援部会報告書
2. 第7回団体支援部会スケジュール
3. 体験実習受け入れ一覧
4. 船橋市におけるプロボノの実施イメージ
5. 団体アンケート通知文
6. 団体アンケート実施結果
7. SNS 活用に向けた検討について
8. 令和5年度市民活動センター運営協議会開催日程
9. 令和5年度市民活動に関する何でも相談窓口担当表

〈議事概要〉

1. 前回の内容確認
2. 団体アンケート集計状況報告（資料7参照）回答数 35 団体
 - ・アンケート項目「3. 事業活動全般」について、登録団体の約半数がサポートセンターを利用したことが無い、サービスを知らないと回答。その理由としてその回答者の半数が魅力的な支援サービスが無いと回答
 - ・魅力的な支援サービスとは、3-2 団体運営上の課題・3-3 団体運営にあたり必要なスキルアップ、3-4 支援を受けたい内容の結果とリンクするのか
 - ・3-5 ボランティア受け入れについて、約半数が受け入れの意向が無いと回答しているが、この結果をどのように読むのかその他、コロナ禍の影響でオンライン、Web の活用が活発化。SDGs に関する取り組みについて等について検証
3. プロボノにおける実施イメージ（資料5参照）
 - ・プロボノは有効性、効果、予算、人員、継続性等々の検討課題が多いが、出来ることから始めるための準備を行いたい。
 - ・プロボノ導入に向けて「GRANT」を活用し、団体とワーカーのマッチングを検討するにあたり、「ふなボノ」に「ワーカーコーディネーター」として関わってもらうことを検討。また、その支援団体の中には団体支援部会も含むことを「ふなボノ」に打診する。
 - ・今後に向けて来月を目途にスケジュールや、それに伴う事業スキームの作成を目指す。
4. 市民大と連携について
 - ・5年度いきいき学部10月4日の「共通講座」で「市民協働」をテーマに市民協働課が講義し、市民団体の活動を紹介する。講義テーマは、市民協働課が3月末までに市民大へ報告する。
 - ・ボランティア活動の追跡調査は5年度（18期）、6年度（19期）の学生対象
 - ・団体支援から市民大への要望事項①学生のアドレスの共有②市民協働の情報送信

5. SNS 活用に向けた検討（資料 8 参照）

- ・ 行政が行うと内容も固く、署内決裁などの手間と時間を要し課題が多いので、親しみやすいアカウントで自由に使えるイメージで運用したい（市民協働課）
- ・ アカウントの管理、発信、受信内容のチェック、責任の所在など運用に向けて懸念事項の洗い出しが必要
- ・ 阻害要因もあるが、登録団体間のツールとしても効果が期待できる。

次回に向けて

- ① アンケート結果の考察及び課題と方策を考えてくる
- ② アンケート未提出団体へ回答提出を促す
- ③ 「ふなボノ」とのすり合わせ日程調整

<次回開催予定> 令和 5 年 3 月 9 日（木）13：30～

場所：市民活動サポートセンター

部会報告作成担当者

田久保 次回廣田委員